

暑い季節、京都の銀閣寺はいかが？

外販課 山島 秀章



銀閣寺は正式な名称を東山慈照寺と言います。

室町幕府の栄華を極め、文化の結晶とも言える八代將軍足利義政が建立し1994年には世界遺産にも認定されています。

季節・角度を変えるだけで大きく表情を変える、まるで人間のように様々な表情を見せてくれるのが、銀閣寺の魅力なのかもしれません。

銀閣寺垣は、総門から中門までの参道に造られた長さ50メートルの生垣は、三段構成になっていて、下から石垣、竹垣、椿の生垣となっています。このように今ではキレイな姿を魅せてくれていますが、本来は防衛のために造られたものだと言われています。

京都楼閣建築の代表寺院となっている、銀閣と呼ばれている観音殿では、内部に観音菩薩坐像が安置され、東求堂（とうぐどう）は足利義政の持仏堂、日本で一番古い書院造りの建物です。名前は仏教の法語からつけられていて、義政の西方極楽浄土への思いが込められているそうです。室内は阿弥陀如来、義政像、茶室と書院造の書斎「同仁斎（どうじんさい）」などの部屋に分れています。

錦鏡池（きんきょうち）の周りには金閣寺と同じように、池泉回遊式庭園と呼ばれる庭園様式となっていて、観音殿が錦鏡池に映るように設計し水面に写るキレイな様子を見ることができます。特に朝方が一番美しいと言われています。 ※池泉回遊式（ちせんかいゆうしき）日本庭園の形式の一。中心に池を設け、その周囲を巡りながら観賞する。

洗月泉は錦鏡池の南東方向にある滝です。山から湧き出る水を錦鏡地へと流す役割をしています。ここは、月が泉に映し出された時に泉のさざ波が、月を洗っているように見えるということから、名前が付けられたそう、パワースポットとしても、今注目されている場所です。

枯山水の庭園は苔寺で知られる「西芳寺」をモデルとしたと言われています。

銀沙灘と呼ばれる砂を盛り上げた波形があり、月待山にのぼる月を見るために作られたという話と月の光を反射させて本堂を照らす役割があるという2つのお話しが伝えられていますが、どちらが本当なのかはさだかではありません。

どちらにしても銀沙灘が月に関係するものであることは確かなようで、もしかするとここから金閣寺＝太陽、銀閣寺＝月というイメージに至ったのかもしれません。

円錐型の向月台（こうげつだい）はこの上に座って東山に昇る月を待っているのに使われたといういわれがあります。

現在の庭園は江戸時代に改修されたもので、創建当時とは異なっているようです。

銀閣寺の庭を抜けて行くと、月待山に登る道に通じています。山といっても、小高い丘程の高さですが、その展望台から京都の街並みが一望できます。実は、京都はお椀のように市街地の中心が低く、中心から離れて行くと少しずつ標高が高くなっていくため、この高さの丘でも街を一望できます。

資料: Find Travel <http://find-travel.jp/article/5552>

アポロ新聞

梅雨時期の大掃除!?

ホームガス課 須田 達哉



じめじめと雨降りが多い梅雨時は、掃除もおあずけ、と思っている方はいませんか？

実は、雨による湿気が多い梅雨時は、お掃除のベストシーズンです。理由は3つあります。

- ① 適度な湿気が、カビの胞子などの飛散を抑える
- ② 静電気が発生しないので、埃が取れやすい
- ③ 夏と秋が最盛期となるダニの発生の予防になる

大掃除シーズンである12月は、乾燥して静電気が発生しやすいことと、気温が低く汚れも固まりがちなために、掃除にはあまり向いていません。それに、何かと忙しい時期ですよ。

梅雨時は雨降りが続くと、レジャーでの外出も控えがちになります。長雨の続く週末は、家族でお掃除をして過ごすというのも、梅雨時のよい過ごし方なのでは？

それでは、梅雨にぜひ掃除をしておきたい3カ所をご紹介します。

①窓ガラスと網戸

雨でどうせ汚れるから、窓や網戸のお掃除は梅雨時にはしない！と思っている方。ぜひ、小雨の日などを選んで、窓拭きをしてみてください。湿度があるほうが、窓ガラスの汚れは断然落ちやすいのです。

また、網戸の埃も、乾燥した晴天時は飛び散ってしまいがちですが、湿気のある曇天、もしくは小雨の日のほうが効率よく落とせます。

網戸は、埃が大量についている場合は、裏側に新聞紙を当てながら掃除機で埃を吸い取ります。その上で、市販の網戸用のお掃除シートを使えば簡単です。専用ハンドルがなくても、シートを台所用のスポンジに巻いて、表面をこするように拭くと、簡単に汚れを落とすことができます。試してみてくださいね。

②浴室

浴室の天井や換気扇の付近には、カビの胞子が付着しています。この胞子は、掃除のために窓を開けたり換気扇を回すことで簡単に飛び散り、着床したところに新たなカビを生む原因になります。

このため、浴室の大掃除も、乾燥している時期より湿気が多い時期のほうが向いています。普段あまり手をかけない天井や窓枠、壁などは、フロアモップの持ち手を短くしたものに、ウェットタイプのお掃除シートや、使い捨ててもよいウェスを濡らしたものをセットして拭きます。

その上で、浴室のカビ取りなどもしておきましょう。最後はよく換気をし、カビ予防剤などをかけておく安心です。

③フローリング、カーペット掃除

部屋の中には、衣類やカーテンなどから出る繊維の埃や、カビやダニのフンなどの微細な埃、外から入ってくる砂埃などが充満しています。これらは人が歩くだけで舞い上がり、やがて家具の上や、部屋の隅にまでまんべんなく落ちて堆積します。

こうした埃は、乾燥した時期は静電気が発生しやすいため、化学繊維のカーペットやソファ、カーテンなどに付着して取れにくくなってしまいます。また、フローリングの表面も、掃除機やモップでこすることで静電気が発生して、逆に埃を集める結果になることも。

とはいえ、夏は気温が上がりがすぎて、水で濡らしたぞうきんやモップ、ウェットシートを利用してお掃除はしづらくなります。水分がすぐ蒸発してしまうので、効率が悪いのです。

床掃除は湿気が多い梅雨時が向いています。家具を動かしての大掃除も、梅雨時なら埃が舞い散らないので、ダニやカビの胞子も舞い散りません。ぞうきんは水分が残るので、市販のウェットシートや、マイクロファイバークロスなどをよく絞ったもので拭くのをおすすめします。



夏から秋にかけては、家の中にダニのフンや死骸、カビの胞子が大量に発生する時期となります。夏の到来に向けて、梅雨時こそ大掃除。今やっておくことで、残りの季節を快適に過ごすことができますようになります。

私もつつい後回しにしてしまう掃除…この機会にしてみようかなと思います。